

掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
 TEL.0537-21-5555 (代) FAX.0537-28-8971

最新の情報はホームページをご覧ください

➡ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

中東遠 検索



令和7年8月



掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
 病院案内



+ 基本理念

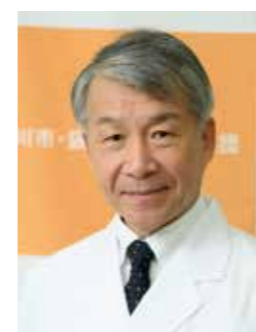
中東遠総合医療センターは、掛川市及び袋井市をはじめとする中東遠地域の基幹病院として、すべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指します。

+ 基本方針

1. 地域連携のもとに、地域住民にとって必要とされる患者中心の質の高い医療を提供します。
2. 地域の救急体制の核として、充実した救急医療を行います。
3. 保健・医療・福祉の連携のもとに、地域住民の健康増進と健康管理に貢献します。
4. 災害時には命を守るための拠点となります。
5. 職員が誇りと働きがいを持って地域医療に尽くすことができる職場環境を整備します。
6. 良質な医療を提供するため、教育、研修を充実します。
7. 持続的かつ安定的な健全経営を実現します。

+ 患者さまの権利

1. あなたは、いつでも人間としての尊厳を尊重されます。
2. あなたは、差別なく適切な医療を受けることができます。
3. あなたは、検査や治療方法について十分な説明を受けることができます。
4. あなたは、自らの意思で医療機関や検査と治療方法を選択することができます。
5. あなたは、主治医以外の医師からの意見(セカンドオピニオン等)を聞くことができます。
6. あなたの個人情報は保護されます。



掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
企業長兼院長

みやち まさひこ
宮地 正彦

より質の高い医療提供による
地域医療への貢献と、
医療を目指す若者の育成に
全力を尽くすことをお約束します。

平成25年5月に日本で初めて自治体主導で掛川市立総合病院と袋井市立袋井市民病院が統合し、中東遠総合医療センターが設立されました。医師を派遣していた5大大学と掛川市、袋井市の努力により、困難な病院統合が成されました。12年経った現在において、統合がその後の地域医療にいかにな大きな成果を成し得たかを実感しています。地域の皆さまに支えられながら、当院は成長し、地域医療に大いに貢献できるようになりました。

当院は、「断らない救急」、「臨床研修機能の強化」、「医療の質の向上」、「健全経営体制の構築」を重点課題として掲げ、診療の質と病院機能の向上に努めています。

平成29年4月に救急科医が減少したことで、全科医師主体の救急医療に体制を変更し、それにより、初期研修医への教育意識が高まり、救急搬送件数が増加し、初期研修医が全国から集まるようになりました。初期研修医対象の全国的能力試験では、当院の初期研修医は令和3年度に642病院中15位となるなど、極めて優秀に成長しています。研修医の数の増加に加え、質も格段に向上し、病院の医療の質の向上に寄与しています。

新型コロナウイルス感染症にもひるまず、全職員で対応し、静岡県全域から重症感染者を受け入れ、静岡県の医療にも貢献できました。

平成27年に『救命救急センター』、令和5年に『地域がん診療連携拠点病院』、そして令和6年に『がんゲノム医療連携病院』に指定され、病院機能が向上しています。

体に優しいロボット支援手術を中東遠圏域で最も早くに導入し、ロボット支援手術を前立腺癌、大腸癌、子宮癌、腎臓癌などに対して行い、令和6年度のロボット支援手術例は100例を超えました。また令和9年には最新鋭の放射線治療機器2台の導入を予定しています。

今後の医療において疾病を予防することと早期に異常を見つけて対応することが大切だと考えます。人間ドックでの定期的な健診が自分や家族を病気やけがから守るために重要です。受診者さまの利便性を高めるために工夫し、従来4時間以上かかっていた健診が現在は2時間ほどで終わります。また、がんの検診も強化したことで、早期がんの発見件数が増加し、早期の根治治療に繋がっています。健診で異常を指摘された場合には、当院で精査できる体制を強化しましたので、当院をご利用ください。

急速な高齢化が進む中、医療、病院を取り巻く環境は一層の厳しさを増しています。しかし、今後も中東遠医療圏の基幹病院として、すべての人に質の高い医療を提供し、愛され、信頼される病院を目指し、職員一丸となって地域医療に全力で貢献します。



+ 病院概要

病院名 | 掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター

開設者 | 掛川市・袋井市病院企業団

所在地 | 〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

開院日 | 平成25年5月1日

病床数 | 500床(うち、一般病床496床/感染症病床4床)

施設規模 | 鉄骨造(免震構造)/地上8階
敷地面積/137,218.53㎡
延床面積/46,151.55㎡(付属施設含む)
駐車場/1,688台
(一般用711台・職員用977台)

(令和17年7月1日時点)

想定される南海トラフ巨大地震などの災害時には、災害拠点病院としての役割を果たせるよう、建物は免震構造を採用。自家発電装置やヘリポートを設置するなど、24時間365日の医療継続に対応します。

診療科目 | 総合内科/糖尿病・内分泌内科/腎臓内科/血液・腫瘍内科/脳神経内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/外科/消化器外科/血管外科/乳腺外科/小児外科/呼吸器外科/人工透析外科/整形外科/リウマチ科/脳神経外科/小児科/産婦人科/泌尿器科/皮膚科・皮膚腫瘍科/眼科/耳鼻いんこう科/放射線診断科/腫瘍放射線科/麻酔科(緩和ケアチーム)/リハビリテーション科/歯科口腔外科/精神科/病理診断科/臨床検査科/救急科/集中治療科

センター | 救命救急センター/ICU・CCUセンター/心血管内治療センター/脳血管内治療センター/手術センター/脊椎・脊髄センター/手外科・外傷再建センター/消化器病センター/内視鏡センター/血液浄化センター/睡眠医療センター/認知症疾患医療センター(認知症サポートチーム)/PETセンター/IVR・画像診断センター/臨床研修センター/アレルギー疾患研究センター

+ 階層図

西病棟	東病棟
8F 腎臓内科/消化器内科	緩和ケア病床
7F 循環器内科	呼吸器内科/眼科
6F 総合内科/脳神経内科	脳神経外科/泌尿器科
5F 整形外科	外科
4F 産婦人科/眼科 耳鼻いんこう科/歯科口腔外科	糖尿病・内分泌内科 小児科/皮膚科・皮膚腫瘍科
3F 救命救急センター病棟/手術室(11室)/ICU・CCU 血管造影室/リハビリ ほか	
2F 外来部門/血液浄化センター/人間ドック・健診センター 売店・レストラン ほか	
1F 外来部門/採尿採血/救命救急センター外来 放射線部門 ほか	

+ フロア案内



1Fホスピタルモール



図書コーナー・絵画の小径



救命救急センター外来



小児科病棟



散歩道(病院南西側歩道)



外来診察室



血液浄化センター



新生児室



院内保育園(ことり保育園)



エントランス



外観(ヘリポートより)

外来A 整形外科 外科	外来B 脳神経外科 循環器内科 脳神経内科 血液・腫瘍内科	外来C 腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 総合内科 呼吸器内科	外来D 麻酔科 消化器内科 歯科口腔外科
外来E 産婦人科	外来F 泌尿器科 皮膚科・皮膚腫瘍科	外来G 小児科	外来H 眼科 耳鼻いんこう科

医療施設のご案内

ホスピタリティあふれる 快適な環境

+ 外来

1階と2階にある、通路が広く開放的なホスピタルモールを軸に、受付や会計窓口があり、その向かい側には外来ブロックが並んでいます。大規模な災害が発生した場合、このホスピタルモールが救急患者の受け入れ場所となり、応急処置を行います。

2階には、レストラン、コンビニエンスストアや図書コーナーがあり、待ち時間を快適に過ごすことのできるスペースとなっています。

+ 病棟

病棟は北向き三角形の形態となっています。どの病室にもバランスよく自然の光を取り込むことができ、やすらぎのある療養環境を創り出しています。

病室は主に4床室と個室からなり、4床室は従来より広いスペースを確保し、個室の数も将来を見込み、十分に設置しています。病棟のほぼ中央にスタッフステーションが位置しており、各病室との距離が短く、効率的な配置となっています。

抜群の立地環境

新幹線掛川駅から車で5分にも関わらず、自然と緑に囲まれた抜群の立地環境となっています。建物内部も自然光を取り入れた安らぎを感じるコンセプトとなっており、病棟からは世界遺産「富士山」も眺望できます。



外来Cブロック受付



受付・会計窓口



外来中待合



4床室



有料個室(特別室)



ダイニング



スタッフステーション



病室からの眺め

早期治療と早期退院を 目指して

+ リハビリテーション

患者さんの早期治療と早期回復を目指し、主に入院中に行う急性期リハビリを充実させています。

室内は西側の大きな掃き出し窓から差し込む光で、明るく開放的なつくりとなっています。また、外来部門の屋上に設置されているリハビリ庭園では、のびのびとした雰囲気の中で、リハビリを行うことができます。



リハビリ庭園



リハビリ室



リハビリ室

専用フロアでゆったりと健診

+ 人間ドック・健診センター

1階専用出入口から直接エレベーターで2階の受付へ上がります。専用フロアはゆったりとした上質な空間になっており、安心してご利用いただけます。

健診をスムーズに受けられるよう、分かりやすい健診ルートを設定し、人が交差しないよう諸室を配置しました。



人間ドック 受付



人間ドック専用出入口

病院併設型の強みを活かし、専門医による精密検査から治療まで連携できる体制を整えています。特定保健指導にも力を入れており、生活習慣病の予防から健康維持まで、健診に対する多様なニーズにお応えします。安心と信頼の健診を、地域の皆様にお届けします。



人間ドック 診察室

高度医療 ～センター化による医療の特化～

高度医療の心臓部

+ 救命救急センター

救急車やドクターヘリによる緊急の重症患者の受け入れや治療がスムーズにできる機能を備えています。救命救急センター病棟は、20床(ECU14床とICU・CCU6床)を配置し、重症患者への万全な治療体制を整えています。

令和4年10月からドクターカーの運行を開始。救命率の向上や、後遺症の軽減、社会復帰率の向上につながります。



ICU・CCUセンター



ドクターカー



救命救急センター病棟

+ 脳血管内治療センター

+ 心血管内治療センター

一刻を争う脳卒中や心筋梗塞などの治療を24時間365日迅速な診断、治療を行う体制を整えています。また、最新の設備と高度な技術により、今まで困難であった疾患に対しても対応できる環境となっています。



脳血管内治療センター



心血管内治療センター

+ 手術センター

高度な手術にも対応できるよう、手術室を11室配置しており、同じ3階には、脳血管内治療センター・心血管内治療センターや救命救急センター病棟を近接に配置しています。1階の救命救急センター外来ともエレベーターで直結しているので迅速な救急対応が可能です。

また、平成29年2月には手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、前立腺がんなどに対する、より安全かつ低侵襲な手術が実施できる体制を整えました。



ダヴィンチ手術風景

関連する診療科と連携して行う総合的な睡眠医療

+ 睡眠医療センター

日本睡眠学会の認定(A型認定医療機関)を受けた、睡眠医療の専門施設です。総合病院の睡眠医療センターとしては、現時点では静岡県唯一です。上記学会の認定を受けた、専門医、専門技師により、睡眠疾患全般の診療を行っています。



睡眠医療センター



睡眠医療センター

高度な先進医療システムを備えた16のセンター機能により、質の高い医療の提供が可能となっています。

救命救急センター

ICU、手術センター、脳血管内治療センター・心血管内治療センターともエレベーターで隣接し、24時間365日体制で救急患者の治療を行います。

ICU・CCUセンター

手術センター、脳血管内治療センター・心血管内治療センターとも隣接し、24時間365日体制で重篤な患者の治療を行います。

心血管内治療センター

狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療を行います。1分1秒を争う循環器疾患に対し、迅速に対応します。

脳血管内治療センター

脳出血や脳梗塞、クモ膜下出血などの脳卒中疾患に対し、24時間365日体制で治療にあたります。

アレルギー疾患研究センター

アレルギー疾患に対して複数科が連携し、診療、臨床研究、臨床関連基礎研究を行います。

手術センター

同じ3階には、脳血管内治療センター・心血管内治療センターや救急病棟、ICU・CCUもあり、迅速な救急対応が可能です。

脊椎・脊髄センター

顕微鏡を用いて身体に負担が少なく安全性の高い手術を行います。脳神経外科と連携し、治療を総合的かつ継続的に進めます。

消化器病センター

消化器疾患に対して、内科と外科が連携して、症状に応じて迅速かつ適切な診療を行います。

内視鏡センター

内視鏡的超音波装置による、食道や胃、十二指腸のほか肝臓、胆のう、膵臓などの検査や治療を行います。

血液浄化センター

維持透析療法のみならず、各種血液浄化療法の対応も可能です。地域の中核となる透析施設としての役割を果たします。

睡眠医療センター

睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害の原因となる疾患を診断し、その重症度に応じた適切な治療を行います。

認知症疾患医療センター

認知症疾患における鑑別診断や地域の医療機関等への紹介、問題行動への対応について相談を行います。

PETセンター

がんの早期発見や正確な診断を目的として、中東遠地域で初めて、最新鋭のPET/CT装置を導入しています。

手外科・外傷再建センター

手や肘など主に上肢における外傷・関節症・神経障害・循環障害などのさまざまな疾患に対し、専門的治療を行います。

がん総合診療センター

がん患者が、住み慣れた地域で、治療・相談・支援を受けることができる患者支援体制を整えています。

地域医療支援センター

地域医療の向上に貢献するため、地域、開業医、他病院、介護施設、保健施設、行政等の皆様をつなぐ役割を担っています。

最先端の放射線機器による質の高い診断・治療

PET/CT、SPECT/CT、CT、MRI、リニアックなど、最先端の放射線機器を揃え、質の高い検査や治療を行います。緊急時に迅速に対応するため、救命救急センターと放射線部門を近くに配置しています。



+ PET/CT (ボジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影装置)

PETとは、がんが集積する薬剤を注射して全身のがんを診断する方法です。CTを組み合わせたPET/CTでは、正確な位置や形も調べることができます。



+ SPECT/CT

SPECT装置にエックス線CT装置を組み合わせた装置です。CT画像を利用して正確で詳細な集積画像を得ることができます。



+ リニアック (放射線治療装置)

放射線を人体に当て、体内のがん細胞を死滅させます。当センターのリニアックは、がんの部分だけをピンポイントで治療することが可能な高精度放射線治療装置です。



+ 血管撮影装置

低被ばくで質の高い画像を提供し、3Dなどの高度な画像再構成機能を持った最新の装置で、最先端の血管内治療をサポートします。



+ CT (コンピュータ断層撮影装置)

様々な検査に迅速に対応するため、3台の装置(2管球2検出器を備えたデュアルソースCT、256列ヘリカルスキャンCT、64列ヘリカルスキャンCT)が24時間365日稼働しています。



+ MRI (磁気共鳴画像診断装置)

X線を使わずに、磁場と電波を使って体の中を見る画像診断装置です。強磁場を用いた3テスラ®と1.5テスラ®の2台の装置で様々な部位の検査に対応しています。
※磁場強度の単位(磁場の強度を表します)



+ 結石破碎装置

体外からの衝撃波により、開腹することなく結石を細かく砕く装置です。破片は尿や胆汁と共に体外へ排泄されます。腎・尿管・胆道結石に用います。

医療人の育成

中東遠総合医療センターの歩み

医師臨床研修

日本トップクラスの臨床研修病院を目指して

当院は「日本トップクラスの臨床研修病院」を目指しています。そのため魅力的かつ実効性のある研修プログラムを構築し、全医療者が診療だけでなく教育にも積極的に取り組んでいます。

高い目標を達成できるよう組織全体で教育体制の充実に務めています。

高水準の診療体制と充実した救急医療研修

当院は中東遠医療圏の基幹病院として、主要診療科の医師が揃い、医師としての基本的な手技の習得とともに、高度な救急医療の研修が可能です。

特に救急部門(救命救急センター)では、救急専門医を含む救急科医師の指導のもと、ERの外来診療からICUでの高度集中治療まで幅広い臨床経験が得られます。また、救急車搬送患者数は静岡県内でもトップクラスであり、24時間365日、さまざまな症例に対応する中で多様な経験を積むことが可能です。

最新鋭の医療設備で高度医療を支える

当院では、最新鋭の医療機器を導入し、質の高い医療の提供と研修環境の充実を図っています。

全職員研修

医師、看護師、コ・メディカル、それぞれの職種における専門的な研修に加えて、経験年数に応じた「ステップアップ研修」や医療安全管理研修、感染対策研修などの「共通研修」を実施し、医療人としての質の向上に努めています。



経験年数	1年目	2~6年目	7年目~主任	主任~	管理職
研修目標	ステップ1 「職場適応」	ステップ2 「チーム参画」	ステップ3 「チーム運営」	ステップ4 「部署運営」	ステップ5 「病院運営」
ステップアップ研修	フォローアップ研修	コミュニケーション研修	リーダーシップ研修	マネジメント入門	マネジメント・経営
共通研修	医療安全管理研修・感染対策研修・接遇研修・医療倫理研修・保険診療研修・個人情報保護研修・院内BLS など				

沿革

〈開院前〉

- 平成18年 2月 / 袋井市「今後の病院のあり方に関する検討委員会」設置
- 平成18年 8月 / 掛川市「掛川市立総合病院のあり方に関する検討委員会」設置
- 平成18年10月 / 袋井市の検討委員会が提言「掛川市立総合病院との統合が望ましい」
- 平成19年 1月 / 掛川市の検討委員会が提言「袋井市との統合、並びに菊川市、御前崎市など近隣自治体との連携、統合、再編による新病院を目指すべき」
- 平成19年 8月 / 両市議会で掛川市と袋井市の2市での統合協議開始を了承
- 平成19年12月 / 「掛川市・袋井市新病院建設協議会」設置
約1年間にわたり、将来像、規模、建設場所、経営形態、建設時期を協議
- 平成20年12月 / 協議会が「掛川市・袋井市新病院基本構想」策定
- 平成21年 1月 / 基本構想を踏まえて、両市の間で新病院建設に関する協定書を締結
- 平成21年 3月 / 掛川市土地開発公社が新病院建設用地を取得
- 平成21年 7月 / 「掛川市・袋井市新病院建設事務組合」設立
- 平成21年12月 / 中東遠地域医療再生計画に対し、地域医療再生基金25億円の交付が内定(新病院には9.3億円)
- 平成22年 3月 / 新病院建設基本計画策定
- 平成22年 5月 / 新病院建設用地造成工事着工
- 平成22年 6月 / 新病院基本設計完了
- 平成23年 3月 / 新病院実施設計完了
- 平成23年 7月 / 新病院建設工事安全祈願祭挙行
- 平成23年12月 / 新病院の名称が「中東遠総合医療センター」に決定
- 平成24年 1月 / 新病院の開院日が平成25年5月1日に決定
- 平成25年 3月 / 中東遠総合医療センター竣工式・内覧会開催
- 平成25年 4月 / 掛川市・袋井市病院企業団設立

〈開院後〉

- 平成25年 5月 / 中東遠総合医療センター開院・院内保育園「ことり保育園」開園①
- 平成25年 5月 / 「災害拠点病院」に指定
- 平成26年 4月 / QIプロジェクト参加
- 平成26年 4月 / 平成26年度の機能評価係数IIがⅢ群病院のうち県内1位(全国108位)
- 平成26年 8月 / 総合入院体制加算届出
- 平成27年 3月 / (一社)日本医療福祉建築協会「医療福祉建築賞2014」にて準賞を受賞
- 平成27年 8月 / 静岡県下で10番目となる「救命救急センター」に指定②
- 平成27年 8月 / 「消化器病センター」開設
- 平成28年 3月 / (公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価で機能種別「一般病院2」に認定
- 平成28年 4月 / 平成28年度の機能評価係数IIがⅢ群病院のうち県内1位(全国20位)
- 平成28年 8月 / 静岡県下で20番目となる「地域医療支援病院」に承認
- 平成29年 2月 / 手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入③
- 平成29年 3月 / 新公立病院改革プラン策定
- 平成29年 9月 / 「輸血機能評価認定病院」に認定
- 平成30年 4月 / 「がん相談支援センター」、「緩和ケア外来」開設
- 平成30年 4月 / (社)日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設」に認定
- 平成30年 4月 / (公社)日本診療放射線技師会「医療被ばく低減施設」に認定
- 平成30年 8月 / (一財)公共建築協会「第16回公共建築賞優秀賞」を受賞
- 令和元年10月 / 「静岡県地域がん診療連携推進病院」に指定
- 令和 2年 4月 / 「手外科センター」を開設(現:手外科・外傷再建センター)
- 令和 2年 8月 / 「新型コロナウイルス感染症に係る重点医療機関」に指定
- 令和 3年 4月 / 卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定
- 令和 3年 6月 / 「中東遠アレルギー疾患研究センター」開設
- 令和 3年10月 / 中東遠2次保健医療圏5市1町・5病院が医療連携及び協力に関する協定を締結⑤
- 令和 4年 4月 / 「がん・緩和ケア支援センター」開設
- 令和 4年10月 / ドクターカー運行開始⑥
- 令和 5年 4月 / 「地域がん診療連携拠点病院」に指定⑦
- 令和 5年 5月 / 敷地内保険調剤薬局開局
- 令和 5年 9月 / 開院10周年記念式典挙行⑧
- 令和 6年 9月 / 「特定行為研修指定研修機関」に指定
- 令和 6年10月 / 「がんゲノム医療連携病院」に指定
- 令和 7年 3月 / 「ISO15189」取得



①開院式



②救命救急センター開設式



③手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入



④開院5周年記念式典



⑤中東遠5市1町5病院医療連携協定締結



⑥ドクターカー運行開始



⑦地域がん診療連携拠点病院指定



⑧開院10周年記念式典